WSA/ESA のローカル アップグレード プロセス

内容

概要

このマニュアルについて説明します。Cisco Webセキュリティ アプライアンス（WSA ）およびCisco電子メール セキュリティ アプライアンス（ESA ）をローカルにアップグレードする場合に使用されます。

ローカルアップグレードプロセスは次の処理のみを実行します ***AsyncOS*** アップグレード.これは *NOT* 適用する *サービスエンジンのアップデート*

前提条件

要件

Cisco WSA と ESA の標準（オンライン）アップグレード手順に関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

AsyncOSバージョン10.0以降。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

ネットワークで輻輳が発生していると、インターネットで WSA または ESA をアップグレードしようとしても失敗する可能性があります。たとえば、アプライアンスのアップグレードが使用可能になると、AsyncOS はそのアップグレードのダウンロードとインストールを同時に行います。ただし、ネットワークで輻輳が発生している場合、ダウンロードが停止してアップグレードが失

敗する可能性があります。このようなシナリオで使用できる 1 つのオプションは、WSA または ESA をローカルでアップグレードすることです。

AsyncOS バージョン 10.0 以降を実行するアプライアンスのアップグレード

AsyncOSバージョン10.0以降を実行するアプライアンスをアップグレードするには、AsyncOSアップグレードをダウンロードし、ローカルIISまたはApacheサーバを使用してアプライアンスに適用する必要があります。

AsyncOS アップグレードのダウンロード

AsyncOS アップグレードをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. [Fetch a Local Upgrade Image] ページに移動します。

2. 物理デバイスの適切なシリアル番号を入力するか、仮想デバイスのVLANとモデルを入力します。複数のシリアル番号が複数ある場合は、カンマで区切ります。

有効なシリアルIDまたはVLAN IDである必要があります

a)ダウンロード対象のマシンは、指定したものと同じでなければなりません。

b)manisfestファイルには、オフラインで使用される認証プロセスの一部として、VLANまたはシリアルのハッシュが含まれます

> **注**:デバイスのシリアル、リリースタグ、およびモデルは、CLIにログインし、「version」と入力することで確認できます。 仮想デバイスのVLANの詳細については、CLIコマンド「showlicense」を使用します。

3. [Base Release Tag]フィールドに、アプライアンスの現在のバージョンを次の形式で入力します。

- WSA の場合：**coeus-x-x-x-xxx**（例：oeus-10-5-1-296）
- ESA の場合：**phoebe-x-x-x-xxx (例：phoebe-10-0-0-203)**
- SMA の場合：**zeus-x-x-x-xxx**（例：zeus-10-1-0-037）

[Fetch Manifest] をクリックすると、指定したシリアル番号またはVLANのアップグレードが可能なリストが表示されます。

4.アップグレードをダウンロードするには、アプライアンスをアップグレードするバージョンのリリースパッケージをクリックします。

> **注**：このパッケージには、入力したシリアル番号に対して用意されている ZIP ファイルの中に、必要な XML ファイルが含まれています。

5.ダウンロードしたパッケージをHTTPサーバから抽出します。

6.ディレクトリ構造がアクセス可能で、次のように表示されることを確認します。

WSA の場合

```
asyncos/coeus-10-5-1-296/app/default/1
asyncos/coeus-10-5-1-296/distroot/default/1
asyncos/coeus-10-5-1-296/hints/default/1
asyncos/coeus-10-5-1-296/scannerroot/default/1
asyncos/coeus-10-5-1-296/upgrade.sh/default/1
```

ESA の場合

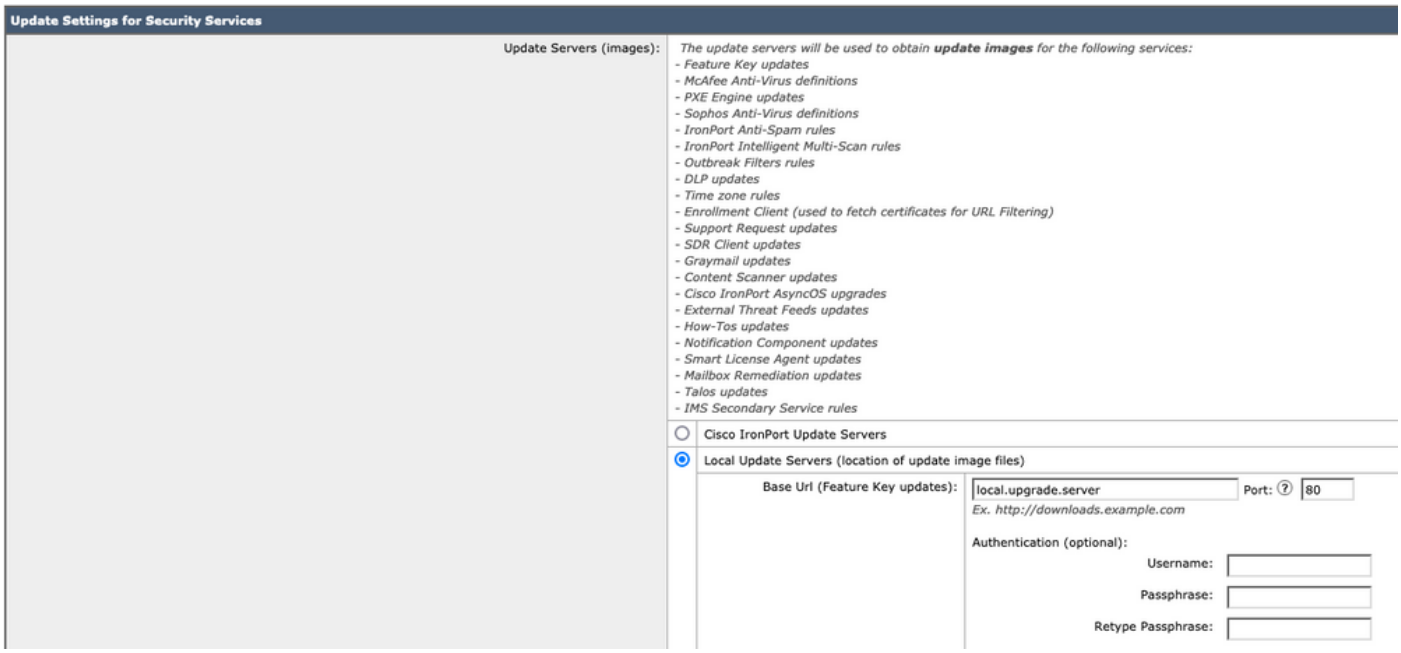
```
asyncos/phoebe-10-0-0-203/app/default/1
asyncos/phoebe-10-0-0-203/distroot/default/1
asyncos/phoebe-10-0-0-203/hints/default/1
asyncos/phoebe-10-0-0-203/scannerroot/default/1
asyncos/phoebe-10-0-0-203/upgrade.sh/default/1
```

> **注：**この例では、WSAの**10.5.1-296**、ESAの**10.0.0-203**がターゲットバージョンです。HTTP サーバでは、ディレクトリを参照する必要はありません。

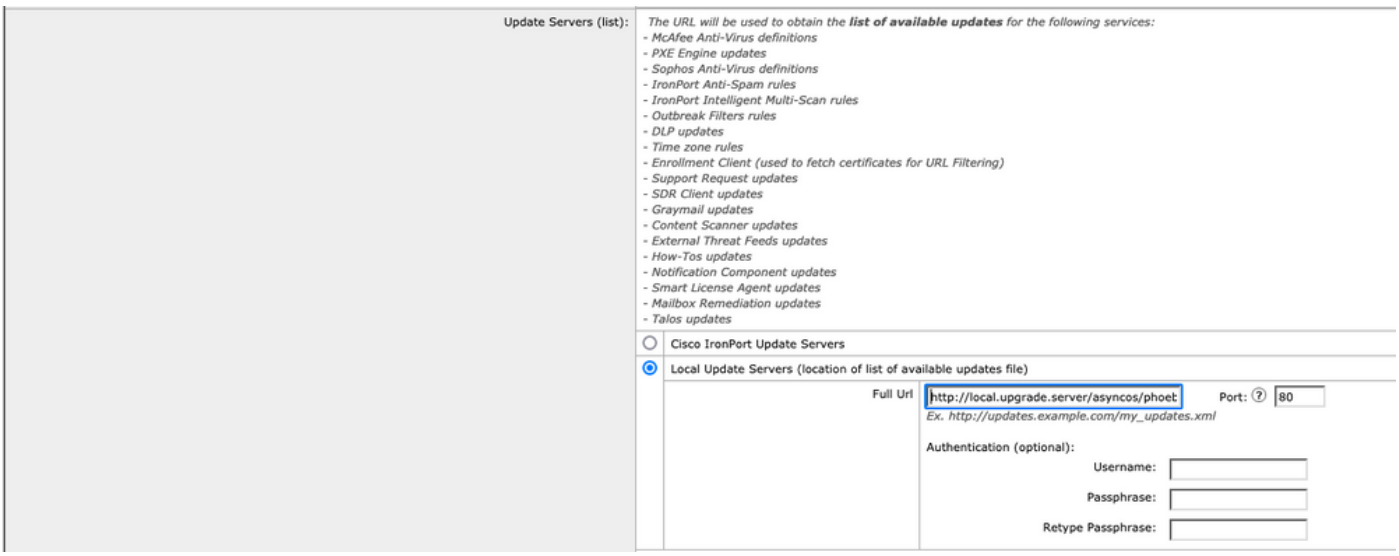
機器のアップグレード

ローカル アップグレード サーバを使用する ESA を設定するには、次の手順を実行します。

1. [セキュリティサービス] > [サービスアップデート]に移動し、[更新設定の編集]をクリックします。
2. [Update Servers (images)]設定の横にある[Local Update Servers]ラジオボタンをクリックします。Base URL (IronPort AsyncOSのアップグレード)の設定をローカルアップグレードサーバと適切なポート(local.upgrade.server:80など)に変更します。



3. [Update Servers (**list**)]**構成の横にある**[Local Update Server]オプションを選択し、マニフェストファイルの完全なURLを入力します(例えばhttp://local.upgrade.server/asyncos/phoebe-10-0-3-003.xml)。



4.完了したら、変更を送信して確定します。

5.通常のアップグレードプロセスに従って、ローカルサーバからイメージをダウンロードしてインストールします。